≪専門職コーナー～看護師のお仕事～≫

皆さんの些細な体調の変化にも、適切に対応してくれる看護師さん。
医師の常駐しないハトホームで、頼りになる医療専門職です。

お話を聞いてみると
〝生活施設の特別養護老人ホームでは
高度な医療処置はできませんが
ひとりひとりとゆっくり向き合い
寄り添うことのできる所が魅力〟とのことです。

と言いつつも、医療従事者の看護師スキルを最大に発揮する場面は
根拠に基づく医療（evidence based medicine）について……、
つまり「最良の【根拠（evidence）】を思慮深く活用する」ところです。
これにより、適切な状態観察や医師への報告・相談が可能となります。

それでも『エビデンス』偏重が必ずしも望ましい結論とは限りません。
ご本人やご家族の意向を尊重しながら、チームの一員として
多職種とよく相談しながら、連携してケアをします。

治療の場とはひと味違う〝生活の場の看護師の専門性〟
賛同してくださるナース。絶賛募集中です。

今年度もあっという間に半年が過ぎました。梅雨明けも早く（実際には違ったようですが…）暑さの厳しい夏でした。**〝3年ぶりに行動制限のない夏休み〟**との報道をしり目に、施設は変わらずの**〝行動制限中〟**です。この広報誌をご覧になる頃は秋です。皆様もいろいろな意味で〝ストレスが溜まっている〟かと思います。スポーツの秋、食欲の秋、少しでも発散できることを見つけ、引き続きご協力の程、お願いいたします。

《発行》　社会福祉法人　村山苑
特別養護老人ホーム　ハトホーム
発行責任者　兼市琢磨
《編集》　ハトホーム　広報委員会
〒189－0024　東村山市富士見町2丁目7番5号
TEL　042－393－7574
※写真・作品は、個人情報保護法に基づき、本人承諾のうえ掲載しています。
2022年9月末日　発行
表紙：納涼祭…無観客は今年までにしておきましょう!!

お知らせコーナーも
ぜひご覧ください。

ハトホーム
ホームページは
↓こちら↓

村山苑

FREE　ご自由にお持ちください。

はとほーむ
第61号

表　紙：「ステップアップ研修」
見開き：「素顔」
「防災訓練 大特集」
裏　面：「専門職コーナー　看護職員」

ステップアップ研修

村山苑で長く働き続けるためのサポート取り組みのひとつ

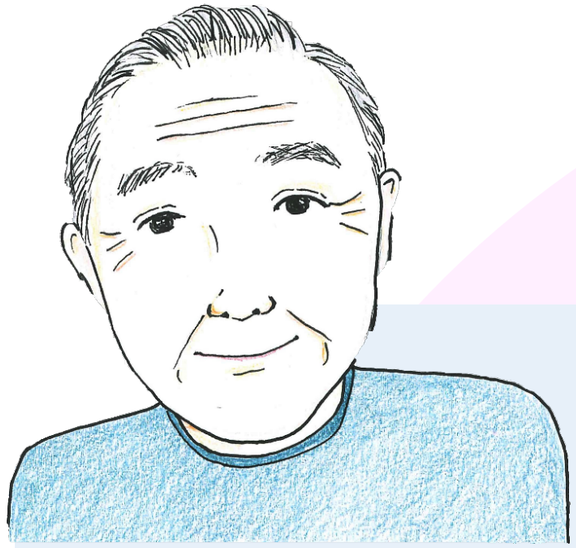
研修と聞くと肩が上がるイメージですが、悩み事やもやもやした気持ち、将来の希望などざっくばらんに自由な意見交換をする場で、毎年、和やかなムードで実施されます。
ハトホームからは、3人の障がい者雇用の職員と事務員1人が参加しました。

① まずはアイスブレイク。簡単なリズムゲームをします。
② 自己紹介や自分の仕事内容を簡単にお話します。
③ プライベートなことでもOK！どのような一年間だったかを皆さんに披露します。
〝職場でのこと〟〝応援している球団について〟〝好きなゲームは…〟
〝ジム通い、始めました〟〝私流の家事は…〟等々、話題は様々。
共通の話題では話の輪が広がります…

法人内、施設によって仕事の内容や環境はそれぞれ違いますが、どのように働いていて、何を思っているのかを知る事で〝仕事との向き合い方を考える良い機会となっている〟参加者からは好評を博しています。

研修担当が行っている司会進行役、全部は無理かもしれないけれど〝自分達で少しでもできると面白いかもしれない〟との声もあり…更なるステップアップをみせる日も近いのかもしれません。

「入居者さんの素顔」



「なんや、またたたむんか？」

お願いした〝お絞りたたみ〟
すぐに本を伏せて応じてくださる利夫さん。
迷惑そうな声とは裏腹に
すでにたたむ体制になっている両手。
穏やかでお仕事も早い利夫さん。頼みやすさも手伝って、ついつい頼ってしまいます。
長男として家業を手伝うかたわら、ご家族から何かと頼られていたからでしょうか。

若い頃から、短歌や読書、短編小説等も執筆されていた利夫さん。
きっと〝**包容力あふれた人柄**〟を彷彿とさせる作風なのでしょうね。

14 時が近づくと、いそいそと TV の前に移動する花子さん。
〝刑事ドラマ〟〝ミステリードラマ〟　お待ちかねのお時間です。

最近の作品はね、背景に社会や個人の問題があってね
〝複雑な事情があるよねっ〟て感じる人間ドラマなのよね。
昔みたいに〝勧善懲悪〟一本槍ではないところが面白いのよねぇ（花子考）とか。

いつもかわいらしいアイテムを身につけている花子さんですが、
他人に迷惑をかけている人を見ると、意外と厳しめに叱責することもあり……。
どうやら、私生活では〝**勧善懲悪スタイル**〟のようであります。

防災訓練　大特集

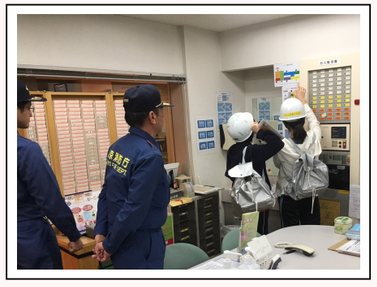
要介護の高齢者が集団で生活しているハトホーム。ひとたび災害が発生したら……。
大切な命を預かるホームとして、どのような取り組みが行われているのでしょうか？
防災月間の９月。命を守る取り組みの最前線を特集でお送りします。

月次　消防訓練

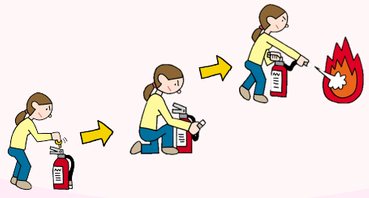
火災対応に対する意識付けのベースを担っていると言っても過言ではない

〝毎月の消防訓練〟

人手の少ない夜間体制も想定し、第２ハトホームと連携。
毎月、合同で訓練を実施しています。



先ごろ新設された第２ハトホーム。当然ながら最新の消防設備を導入しています。
しかしながら、この新施設…。東西方向にとっても横に細長い構造となっておりまして…。
ほぼ真四角構造のハトホームとは避難誘導の勝手が随分と異なりそうです…(^-^;
〝困ったときのスペシャリスト頼み〟とばかりに、先日、東村山消防署の隊員をお招きし
心得や構造上の留意点、火点毎の避難誘導のポイントを教えていただきました。



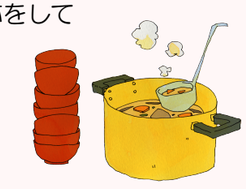
ハトホームと第２ハトホームの火災警報は連動しており、お互いに駆け付け、協力して活動します。
消防署とも連動していますが〝火点の発見〟〝初期消火（消火器・消火栓）〟〝避難誘導〟は職員の活動です。
最近では、動きをイメージしやすいように、パワーポイントを活用し行動を整理する等、工夫もしています。
有事の際には、身体が勝手に動く…ぐらいが理想ですね！　一に訓練二に訓練です。

震災訓練

毎年防災月に、当地区に大きな被害をもたらす可能性の高い
〝多摩直下地震〟（震度６強）を想定した訓練を実施しています。

倒壊は免れたものの、ライフラインが遮断された状況を想定した
〝震災時の BCP（事業継続計画）〟に基づいて、炊き出し訓練・入居者の安否確認及び点呼・
負傷者の手当て・電源の確保（ポータブル発電機の作動テスト）を行っています。

炊き出しでは、滞りなく昼食を提供できるように、非常食の提供訓練も併せて行います。
安否確認の後には、改めて施設内の危険個所がないか、点検・改善対応をして
リスクの低減に努めています。



応援協定訓練

村山苑各施設と近隣自治体の〝自衛消防隊相互応援協定〟〝災害時の相互応援協定〟に基
づき、毎年、合同自衛消防訓練を実施しています。
火災や災害の時は、地域と連携・協力して対応する体制を整えるべく、連絡網や応援時の行
動を確認しています。